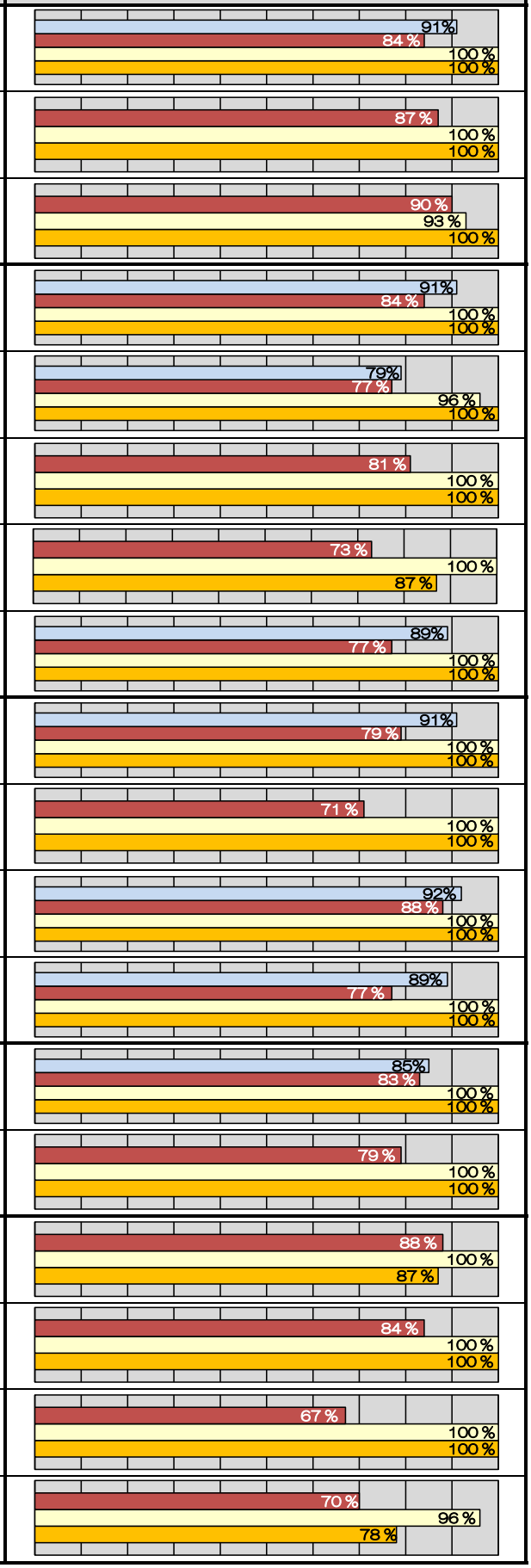
# 令和6年度　学校評価【まとめ】

志木市立志木第三小学校

※表の数値は「4　よくできている」「3　どちらかというとできている」の合計（%）を表しています。

| 評価項目 | No. | 質問項目 | 児童 | 保護者 | 教職員 | 学校関係者 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 組織運営 | 1 | 学校は、学校教育目標の達成に向けて、学年学級経営や校務分掌が組織的に運営され、「児童に幸せな未来を拓く力をつける」学校づくりに取り組んでいる。 | 91 | 84 | 100 | 100 |
| | 2 | 学校は安全教育の推進と事故防止に努めるともに、事故発生時に迅速に対応している。 | | 87 | 100 | 100 |
| | 3 | 学校は組織的に環境美化に努めている。 | | 90 | 93 | 100 |
| 学力の向上 | 4 | 学校は、児童が学習内容の理解を深めることができるよう授業を展開している。 | 91 | 84 | 100 | 100 |
| | 5 | 学校は各教科等の指導において、伝え合う活動を工夫した授業を展開し、児童の表現力を高めている。 | 79 | 77 | 96 | 100 |
| | 6 | 学校は生活科、総合的な学習の時間及び特別活動を中心に、体験活動を充実させている。 | | 81 | 100 | 100 |
| | 7 | 学校は、学習用タブレット端末を活用し、授業の教育効果を高めたり、業務の効率化を行ったりしている。 | | 73 | 100 | 87 |
| | 8 | 学校は、児童が意欲的に学習に取り組めるよう授業を展開している。 | 89 | 77 | 100 | 100 |
| 豊かな心の育成 | 9 | 学校は、児童が友達や教職員、来校者に進んで挨拶ができるように指導し、成果を上げている。 | 91 | 79 | 100 | 100 |
| | 10 | 学校は、児童がいじめをすることなく助け合って学校生活を送れるよう、学年学級づくりに取り組んでいる。 | | 71 | 100 | 100 |
| | 11 | 学校は、親身になって相談しやすい体制をつくるとともに、問題が生じた際に迅速に対応している。 | 92 | 88 | 100 | 100 |
| | 12 | 学校は教職員自ら手本となり、児童に対して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導を行っている。 | 89 | 77 | 100 | 100 |
| 心身の健康の保持増進 | 13 | 学校は児童の体力向上に向け、体育や休み時間等において意欲的に取り組めるよう指導にあたっている。 | 85 | 83 | 100 | 100 |
| | 14 | 学校は、計画的に健康教育を推進している。 | | 79 | 100 | 100 |
| 保護者・地域との連携協力 | 15 | 学校はPTA活動や地域活動に関心をもち、保護者及び地域と連携協力している。 | | 88 | 100 | 87 |
| | 16 | 学校は教育活動の様子や、成果、課題等について定期的に情報提供している。 | | 84 | 100 | 100 |
| | 17 | 学校は学校応援団を充実させるとともに、保護者及び地域と連携した教育活動を展開している。 | | 67 | 100 | 100 |
| | 18 | 学校は、小中一貫教育の本格実施に向けた準備を着実に進めている。 | | 70 | 96 | 78 |

評価の分布状況




児童…　保護者…　教職員…　学校関係者…

# 令和６年度　学校評価（全体まとめ）

※自由記述から主なものを抜粋（一部要約）しています

**【教職員】**

**①学校は、学校教育目標の達成に向けて、学年学級経営や校務分掌が組織的に運営され、「児童に幸せな未来を拓く力をつける」学校づくりに取り組んでいる。**

〇組織的に運営されていると感じるから。

〇学年学級経営は、各先生方が努力され、チームワークで組織的に運営できていると思う。その反面で、校務分掌が組織的に運営されているところもあるが、組織的に活動できていない校務分掌もあると感じている。

**②学校は安全教育の推進と事故防止に努めるともに、事故発生時に迅速に対応している。**

〇研修で重大事故発生時の訓練を行った。また、事故発生時に教員間の連絡がスムーズに行われ対応できていると感じるため。

〇定期的な安全点検を行い、問題があった箇所については、迅速に対応していただいているため。

〇事故発生時には、校長のリーダーシップのもと、迅速的に対応できていると感じる。安全教育の推進や事故防止策には、慣習で行っているものもあるので、常に最新のものを行わないといけないと感じる。

**③学校は組織的に環境美化に努めている。**

〇いくつかの委員会が分担して、学校をきれいにし、子どもたちもよく働いている。

〇清掃指導を徹底しようとしているから。

〇PTA の方のご協力で、除草作業を行えている。（日頃、子どもたちで掃除をしているところ（階段や靴箱）も大人の手を加えると良いかも）

**④学校は、児童が学習内容の理解を深めることができるよう授業を展開している。**

〇校内での授業の案内や校内での研修が盛んで、教員同士の交流も良い。

〇タブレットを使ったり、テレビを活用したりと学習理解をさせるための手段を多くとっていると感じるから。

〇各先生方が各自努力されていると思うが、学校全体でといわれるとそうではないと感じるから。

**⑤学校は各教科等の指導において、伝え合う活動を工夫した授業を展開し、児童の表現力を高めている。**

〇ICT を活用し、工夫されている場面も見られるため。

〇各先生方が各自努力されていると思うが、学校全体でといわれるとそうではないと感じるから。

⑥学校は生活科、総合的な学習の時間及び特別活動を中心に、体験活動を充実させている。

〇外部の講師に授業をお願いしていることもあり、体験活動を充実させていると感じる。

⑦学校は、学習用タブレット端末を活用し、授業の教育効果を高めたり、業務の効率化を行ったりしている。

〇毎日授業で使い、効果を確かめているから。

⑨学校は、児童が意欲的に学習に取り組めるよう授業を展開している。

〇教材研究を重ねているため。

〇多くの学習において子どもたちの意欲や目標の与え方を考えながら授業を作っているから。

⑩学校は、児童が友達や教職員、来校者に進んで挨拶ができるように指導し、成果を上げている。

〇挨拶は児童の方からできる子が多く、目を見て挨拶できる子も多い。

〇先生方同士もあいさつがきちんとされているのも良い。

⑪学校は、児童がいじめをすることなく助け合って学校生活を送れるよう、学年学級づくりに取り組んでいる。

〇問題があるときは、すぐに学級会で話し合う様子も見られるから。

⑫学校は、親身になって相談しやすい体制をつくるとともに、問題が生じた際に迅速に対応している。

〇管理職の先生を中心に、どの先生方にも話しやすい環境になっているため。

〇教職員全体で解決しようという雰囲気があるから。

⑭学校は児童の体力向上に向け、体育や休み時間等において意欲的に取り組めるよう指導にあたっている。

〇外で遊んでいる教員が多い。休み時間も鉄棒のやり方を教えてあげている教員もいるから。

⑯学校はＰＴＡ活動や地域活動に関心をもち、保護者及び地域と連携協力している。

〇PTA の活動が盛んで、保護者が協力的。

〇PTA 関係の役員さんたちに校内でほぼ毎日お会いするため。

⑲学校は、小中一貫教育の本格実施に向けた準備を着実に進めている。

〇算数において志木中の先生に乗り入れ授業をしてもらっているから。

〇どう連携するかが難しい。

【学校関係者】

①学校は、学校教育目標の達成に向けて、学年学級経営や校務分掌が組織的に運営され、「児童に幸せな未来を拓く力をつける」学校づくりに取り組んでいる。

〇先生方が皆さん意欲的で協力的であるように感じます。

②学校は安全教育の推進と事故防止に努めるともに、事故発生時に迅速に対応している。

〇学校危機管理マニュアルも改定されたため、その浸透をお願いします。

〇前々回の運営協議会で話があがったように、想定外の大きな災害があった場合の対応についても、学校の対応が明確になるとより良いかと思います。

③学校は組織的に環境美化に努めている。

〇組織的かはわかりませんが、だいたい学校はきれいです。

〇施設の美化という点では、単一学校だけの問題では無いと思う。

④学校は、児童が学習内容の理解を深めることができるよう授業を展開している。

〇授業を参観していると、どのクラスも工夫があり生徒達がしっかりと授業を聞いていて、素晴らしいと思います。

〇タブレット等を使って児童にわかりやすく授業されていると思う。これからも教職員の皆様で研修等をしてスキルアップしていただきたい。

⑤学校は各教科等の指導において、伝え合う活動を工夫した授業を展開し、児童の表現力を高めている。

〇消極的な性格の子どももいますので、表現力といった意味では手を上げて発表するだけでなく、ICTを活用し文章で伝えるほうが得意な子も評価される時代になって欲しいなと思います。

〇児童が自分の考えを伝えることが出来ている、と自信を持てるような取り組みも必要。

⑥学校は生活科、総合的な学習の時間及び特別活動を中心に、体験活動を充実させている。

〇個人的には、体験活動が好きなので、もっと機会が増えたらいいなと思います。

⑦学校は、学習用タブレット端末を活用し、授業の教育効果を高めたり、業務の効率化を行ったりしている。

〇どの程度、どうやって使用しているのかをもう少し保護者にも発信すると、より良いかと思います。

〇ICT の利活用事例が増えてきていると思われるので、何かしらの共有の場があるとよい。

⑧学校は、児童が意欲的に学習に取り組めるよう授業を展開している。

〇工夫されている授業が多いなという印象です。

⑨学校は、児童が友達や教職員、来校者に進んで挨拶ができるように指導し、成果を上げている。

〇以前よりも挨拶が増えたように感じる。

〇あいさつを先にしてくる児童もいるが、こちらからして返事をしてくる児童の方が多いと思う。

⑩学校は、児童がいじめをすることなく助け合って学校生活を送れるよう、学年学級づくりに取り組んでいる。

〇最近のいじめ問題は本当に奥が深くて大変だと思う。先生方、本当にお疲れ様です。

〇いじめは、なかなかなくならないと思いますが、最大限できることは、学校はがんばっていると思います。

〇いじめ問題は先生の負担も大きいと思うので、専門家に任せる仕組み作りをした方が良いと思う。

〇危機管理マニュアルに沿って対応しつつ、常にアップデートできるとよい。

⑪学校は、親身になって相談しやすい体制をつくるとともに、問題が生じた際に迅速に対応している。

〇生徒だけでなく、先生（特に若手先生）が相談できる環境を整えてほしいと思います。

⑫学校は教職員自ら手本となり、児童に対して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導を行っている。

〇先生個人の力が重要になってくる項目かなと思いますが、子どもの様子をみるとできているかと。

⑬学校は児童の体力向上に向け、体育や休み時間等において意欲的に取り組めるよう指導にあたっている。

〇体育では、もちろん指導にあたっていると思うが、休み時間にまで指導する必要性は感じません。

⑮学校はＰＴＡ活動や地域活動に関心をもち、保護者及び地域と連携協力している。

〇ワークライフバランスとの兼ね合いもあるが、保護者、地域にもっと頼ることがあってもよい。

〇忙しいお母さん方が年々増えてきていると思うので、今後の PTA がどうなっていくか疑問と不安はあります。

⑯学校は教育活動の様子や、成果、課題等について定期的に情報提供している。

〇出せてはいると思うが伝わりにくくなっている実情がある。折角の取り組みや出来ていることを何とか伝えていけるよう、取り組んでほしい。

〇先生によって差（おたよりの発行の仕方、内容）があるのでしょうか。それによって保護者の感じ方が異なるのでは、と思います。

⑰学校は学校応援団組織を充実させるとともに、保護者及び地域と連携した教育活動を展開している。

〇昔より、教育活動への地域や民間の個体の具体的な参加はふえている印象です。

⑱学校は、小中一貫教育の本格実施に向けた準備を着実に進めている。

〇一貫教育のメリットや具体的な活動内容がイマイチわからない。主導している教育委員会が、もっと発信すべきだと思う。

〇教育委員会も何かしらのもう一歩の打ち手が必要。

【保護者】

〇子どもは学校が楽しいと言っています。ありがとうございます。

〇いつも子どもたちの挨拶に感心します。素直な子が多く、とても良い学校だと思います。

〇日々のご指導ありがとうございます。先生方の仕事の負担を減らしながら、より良い学校生活が子ども達も先生達も送れる事を願っています。子ども達の躾に関して、もっと保護者に発信し、学校側が躾ける場ではない事を伝えて良いと思います。学校と家庭ではお子さんの姿が違う子もいるとは思いますが、事実を受け止め改善していくよう必要な家庭には繰り返し伝えていって欲しいです。

〇回答については教師によってかなりばらつきがあるように感じます。総合つき判断で記載しましたが、現在ご担当頂いている担任の先生がたはとても熱心に対応してくださっておりますことを申し添えます。

〇学習面について、漢字練習など反復学習が必要と思われることについて、復習（つまり宿題）が少ないと思います。家庭での個別の復習が前提かもしれませんが、授業と宿題だけではしっかり身についておらず、これから学年が上がるにつれ心配です。

〇図工の教材が、その時の担任の先生により追加で物品を用意することがあります。用意するのは構わないのですが、持ってこない子に分けたりする場合もあるので、買えるなら教材費が上がっても一括で購入していただけると不公平感がないのかなと思います。

〇低学年の社会科見学ですが、バスの確保が難しければ電車を使うこともできると思いました。1 年に 1 度のお弁当を持ってみんなと過ごせる社会科見学なので、とても残念でかわいそうな気持ちになりました。

〇運動会のリレー、持久走大会の順位、また復活して欲しい。

〇運動面、体育や持久走記録会等はあまり表彰されないのがなぜだろうと思っています。誰かと競う、運動を通して誰かを目標とすることも学習の一貫な気がします。せめて上位の子達だけでもわかると目標にできるかと思います。上位の子達はモチベーションが上がるとも思います。親も褒めてあげられます。

〇連絡網は見るのですが他の情報源がなく、いかに自分が学校の取り組みを知らないのかよくわかりました。

〇今年から一年生なので、基本的に回答が「わからない」になりましたが、そこで改めて学校の様子がよくわからない事に気づきました。この質問で聞いているようなことが、親から見て実際できているかというのは、学校の様子がわからないので回答ができませんでした。

〇学校応援団組織というものを知らない。

〇安全指導について。登校時に仕事に行くために自転車で通学路を通りますが門前に先生方が立っているのをよく目にしてとても良いことだと思います。しかしながら、校門付近はさほどではありませんが、裏門の坂や坂の下付近は子供達が横並びで歩いていたり、右側と左側に別れて道を塞いでしまっていたりすることが多いので、右側によるという再度の声かけや、集約してくるあたりの道も気にかけていただけると助かります。

〇登校班制度を辞めていただきたいです。理由は、

①高学年が低学年、特に 1 年生の世話をするのは荷が重い。

②登校班に合流するために、わざわざ遠回りさせることに疑問があります。

③保護者間、あるいは子ども同士のトラブルがあっても、関係性を強要するような制度だと思います。

④登下校中の子どもが事故や事件に巻き込まれる痛ましい報道が後を絶ちません。集団でいるが故に事故の被害が大きくなったり、不審者に狙われやすくなったりする可能性があります。

以上のことから、登校班制度の見直しを強く強く要望します。

〇樹木の剪定について。PTA のお手伝いで剪定作業をしましたが手の届かない上の方等、やりきれていない部分が多く感じました。一回ではやりきれないのと、やはり素人なので乱雑な感じが残って気になります。やはりこの辺りは学校の整備としてお手伝いレベルではなく、業者の方に綺麗にやっていただきたいです。

〇些細なことですが、学年帽の素材を見直してはいかがでしょうか（つばが折れやすい）。

〇各家庭には通達されていない、謎のルールがあります。また、担任の先生によって判断が違うルールがあるので困ります。

〇学年だよりや新入生説明会などの資料が去年のままで訂正されていないことが多々あった。学校として管理職や主任のチェック体制はされていないのかと疑問に思いました。

〇担任の先生はよくやってくれています。ありがたいです。が、管理職の方々が子供の学校生活環境を過ごしやすく整えるのに腰が重そうにみえる。

〇⑩学校は、児童がいじめをすることなく助け合って学校生活を送れるよう、学年学級づくりに取り組んでいる。これを学校評価の項目対象にするのは先生方に対して厳しすぎるのではないでしょうか？いじめに関しては学校というよりかは個人の問題や家庭環境が大きいと思います。解決策は個人差が出るので難しいですが、道徳を強化し、大人や社会ははいじめは許さない、通用しないという毅然とした態度や対応はして欲しいです。今の先生方はこの問題では大変苦労されていると思います。いつもありがとうございます。

〇どちらかといえば小中一貫教育に反対だが、実施ありきで事が進んでいることが不安を感じている。

学校評価へのご協力、ありがとうございました。いただいたご意見をもとに協議を行い、令和７年度の計画を進めてまいります。

学力の向上について

・児童の基礎基本となる学力については着実な伸びが見られます。今回の学校評価において、「表現力の向上」「意欲的に学習に取り組む態度」「効果的なタブレット端末の活用」に課題が見られます。今後は児童の資質・能力のさらなる向上を目指し、コネクト授業（中学校教員が小学校で指導する授業）やスマート教員の活用、校内での教員研修を充実させながら、教職員個々の指導力を高められるよう、努めてまいります。
・各学年の宿題について、学習進度上における学級間での学習内容及び課題の量等に相違は想定されますが、学習内容の着実な定着が図られるよう、今後も学年間でしっかりと情報共有をし、対応してまいります。

体力の向上について

・体力の向上については、体育科の授業以外にも、各学年週１回のフレッシュタイムや体力テストの結果等を踏まえ、課題のある運動技能に特化した体育教室（ボール投げ教室等）を実施しております。今後は各活動を積極的に発信しながら、家庭と連携した体力向上の取組等、日常的に児童の体力を高められるような手立てを講じてまいります。

学校応援団、地域・保護者との連携について

・今年度は国語科（硬筆、書き初め）、体育科（マット運動、跳び箱運動）、総合的な学習の時間（伝統文化体験）等において、学校応援団の皆様を講師とした授業を実施しました。その他にも、地域、保護者の皆様に様々な場面において、多大なご支援ご協力いただき、充実した教育活動を推進することができました。一方で、今回の学校評価において、連携に係る各取組の内容や成果等が保護者の皆様に十分に伝わっていないという課題も表出しました。今後は学校からの積極的な情報発信に努めるとともに、児童の充実した学びに繋がる教育活動を展開できるよう、引き続き地域・保護者の皆様との連携を深めてまいります。

安全教育と事故防止について

・危機発生時の対応における定期的な訓練及び日常的な安全点検等、計画的に実施することができました。しかしながら、常に新たな視点で危機を予測し、実態に即した安全教育を推進していくことが重要であると認識しております。今後も児童が日々安心・安全に学校生活を送れるように取り組んでまいります。
・通学班については、集団による登校がセーフティネットとしての役割も担っていると認識しております。通学班改革を実施している他校の状況や個別登校（各自での登校）における先行事例等を注視しながら、今後の通学班のあり方については慎重に判断してまいります。